

JICA 留学生 20 名が 伊賀流忍者から地域の歴史と発展を学ぶ

独立行政法人国際協力機構中部センター（JICA 中部）は三重県伊賀市にて JICA 留学生向けに「伊賀流忍者から学ぶ地域の歴史と発展」と題した地域理解プログラムを 2024 年 11 月 16 日（土）に実施します。

「地域理解プログラム」は JICA が実施する、日本各地で培われてきた地域特有の開発事例を題材とし、地域に根差した具体的な開発事例を学ぶことで、日本の開発経験について更なる理解を深め、母国の開発に活かすことを目的に開催するものです。JICA 中部では三重県伊賀市に存在した伊賀流忍者の歴史やその現代への影響から、地域開発や観光資源としての活用方法を学ぶ機会を企画し、中部地域の大学院で学ぶアジア、アフリカ、中南米出身の JICA 留学生 20 名が参加します。

本プログラムでは、忍者の歴史や伊賀の街並みに精通している三重大学国際忍者研究センターの高尾善希准教授に「伊賀忍者の歴史や街づくりへの影響」について講義いただき、忍者センターが所有する鉄砲や古文書などを、実際に留学生たちが手に取って体感します。午後は伊賀流忍者博物館と上野城を見学した後、上野公園周辺で開催される忍者イベントで忍者体験をします。その後、高尾准教授の案内のもと上野城下町を散策して現代に残る伊賀忍者の影響について学びます。

上記のとおり、かつて三重県伊賀市に存在した「伊賀流忍者」をテーマに、JICA 留学生の、地域の歴史と文化に根差した発展の経験に対する理解の促進及び世界への日本文化発信に大きく繋がるプログラムとなっています。本プログラムには通訳も同行しますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。取材をご希望の報道関係者の皆様は 11 月 15 日（金）迄に JICA 三重デスクにご連絡ください。



（↑伊賀流忍者博物館公式 HP より）

*JICA 留学生：開発途上国から JICA の人材育成プログラムで来日し、日本の大学（修士課程あるいは博士課程）で学んでいる留学生。JICA 留学生は、自国の行政官、研究者、民間企業出身者などバックグラウンドは様々ですが、将来、国の発展を支えるリーダーとなることが期待されている人材です。自身の専門の研究とともに、日本の近代化の歴史を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。2024年 10 月時点ではアジア、アフリカ、中南米など出身の約70名の JICA 留学生が東海地域の 9 つの大学院で学んでいます。

〈当日のスケジュール〉 ※時間等は変更となる場合がございます

時間	内容	会場
～10:00	集合	大仙寺 ※備上バス(JICA 中部発)
10:00～12:00	高尾善希准教授 講義 (国際忍者研究センター)	大仙寺
12:00～12:45	昼食	大仙寺
12:45～13:00	移動(大仙寺⇒忍者博物館)	※備上バス
13:00～15:00	忍者博物館・上野城見学、忍者イベント 参加	忍者博物館、上野公園周辺
15:00～17:00	城下町散策	伊賀城下町(崇広堂⇒わかや⇒西大手⇒大仙寺)
17:00	解散	大仙寺 ※備上バス(JICA 中部行)

会場①大仙寺(所在地:三重県伊賀市上野三之西町 3241)

会場②伊賀流忍者博物館(所在地:三重県伊賀市上野丸之内 117)

会場③伊賀城下町

※JICA 中部と伊賀市間および伊賀市内は、JICA 留学生とスタッフは備上バスでの移動を予定しております。メディア関係者様におかれましては交通手段をご自身で手配いただきたく存じます。

※会場③につきましては、徒歩での移動となりますことご了承ください。

※車両による移動のため、各行程の時間は多少前後する可能性があります。

【参加留学生情報】

出身国:ペルー、パプアニューギニア、スリランカ、フィリピン、ベトナム、コートジボワール、ケニア、ウガンダ、ガーナ、カンボジア、ブラジル、インドネシア、エチオピア、ジョージア

【本件に関する問い合わせ先】

JICA三重デスク 国際協力推進員 担当:堤真人

TEL: [059-223-8003](tel:059-223-8003) Email: jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp